

☆ねらい

時事問題やタイムリーな話題を扱った新聞記事を読み、その記事に対しての自分なりの意見やその裏付けとなる理由を持ち、それを英文で表現することができる。

☆扱う場面

- ・全学年（質問の難易度を変えることもできる。）
- ・1時間扱いはせず、少しずつ無理なく帯活動で取り組ませる。時間を区切ってペアやグループで質問やトピックについて日本語で話し合わせ、協力して英作文に取り組みすることができる。そのため、授業の始めの活動や、教科書の内容と関連した活動として単元のまとめにも扱うことができる。

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 記事の背景を確認する。	・扱う記事についての背景や知識が生徒にあるのかをたずねる。
② 日本語の説明文を読み、記事の内容について確認する。	・学年によっては英文やフレーズについて少し解説を加えたり、音読させたりする。
③ 記事の英文を読み、既習事項の確認をする。	・既習事項以外でも役立つ表現などにも注目させる。
④ ワークシートの質問を音読し、質問内容を確認する。	・1つめの質問は Yes / No クエスチョンとし、自分の意見を持たせる。
⑤ グループ内で質問の答えやその理由、自分の思いを日本語で交流する。	・グループ内で一人ひとりに自分の意見を発表させる。どんな意見も受け入れるよう、自由に意見が言えるように配慮する。また、各グループを周り、適宜援助する。
⑥ グループで協力して、各自の答えや意見を英文にする。	・英作文に取り組みせる前に、各グループでどんな意見が出ていたか、また、それをどんな既習事項を使って表現するかなどを知らせる。 ・ヒントとして、教師の解答を示して、慣れるまではパターン化してもよい。